

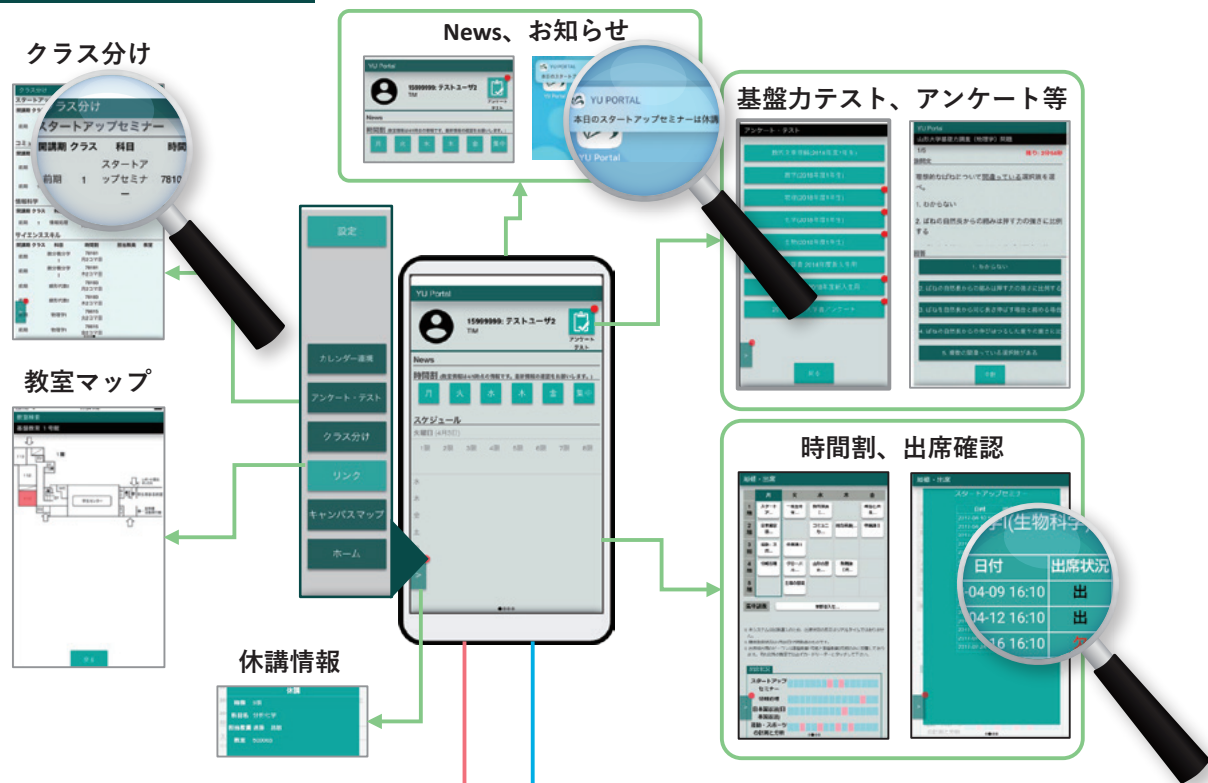


YU Portalとは？

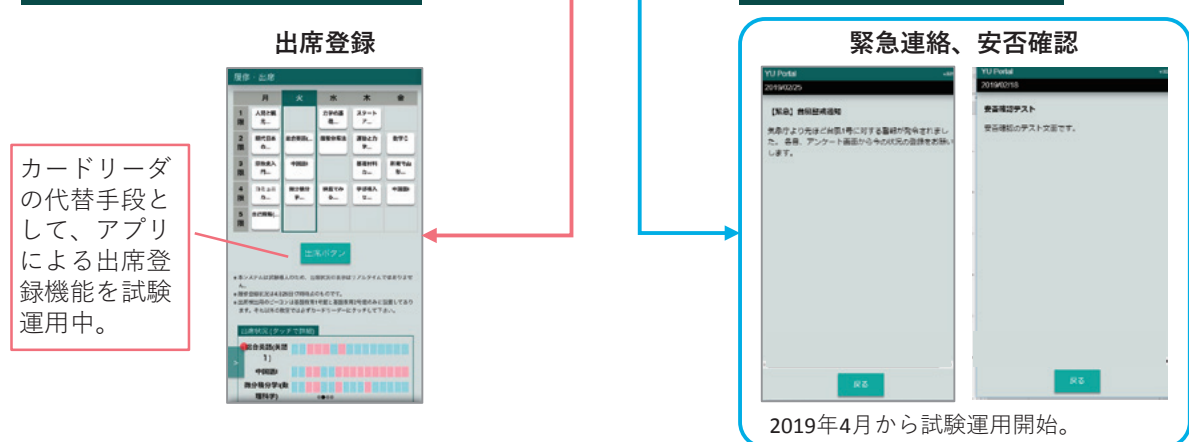
YU Portalは、2016年度から本学が独自に開発を進めている山形大学生専用のスマートフォンアプリ（iOS8.0、Android4.3以上対応）です。基盤力テストの実施基盤としてのみならず、従来、別々のデータベースで管理されている情報を学生個人向けにカスタマイズし、下図のように必要な情報を一元的に表示することで、学生の利便性や学生サービスの質的向上を目的に開発しています。

YU Portalの利用には情報ネットワークセンターのログインID及びパスワードが必要となります。これらの情報を入力してログインすると、基盤力テストやアンケートに回答できるほか、時間割、出席状況、クラス分け、基盤教育棟のフロアマップなどの確認、大学からの各種お知らせを受信したりすることができます。

本格稼働している機能



試験運用している機能



現時点においては、学部1年生の利用が中心となっておりますが、開発している「緊急連絡、安否機能」の実装後、大学院生を含めた全学生が利用できるアプリとして、順次展開して行く予定です。

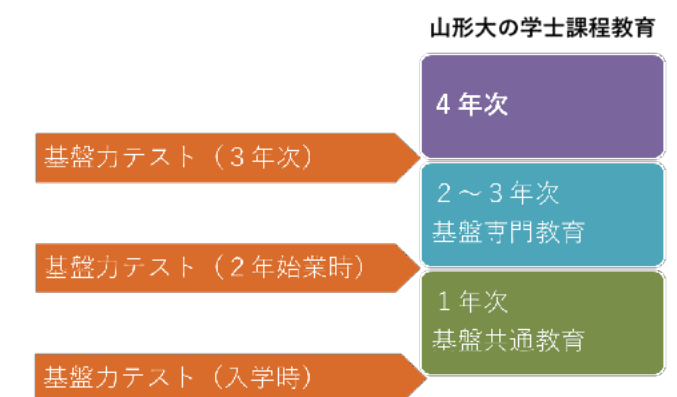


基盤力テストの結果から見える 山大生の学びの状況

これまで学習者の達成度を評価する方法は、学生の主観によるアンケートなど間接的な評価方法が中心であり、直接的な方法はあまり見られませんでした。このような方法では、現状、国内外で強く要請されている教育の質保証に十分対応できないという問題があります。そこで山形大学では、全学共通テストである「基盤力テスト」を独自に開発し、学生の学習達成度を直接測定することを通じて学士課程教育の効果の可視化に取り組んでいます。

基盤力テストの開発は2015年度に着手し、学問基盤力、実践地域基盤力、国際基盤力の3つの基盤力で構成されます。また、右図のように、入学時、2年始業時、3年次の3回にわたって実施することで、学生の学びの状況を客観的に把握することを狙っています。こうした構想が評価され、2016年度「大学教育再生加速プログラムテーマⅤ卒業時における質保証の取組の強化」に採択されました。この採択を機に、実施基盤であるスマートフォンアプリ「YU Portal」も独自開発し、2017年度から本格実施するに至っています。そして、各部署の理解と協力の下、4月初旬の新入生及び2年生を対象にしたオリエンテーション等に組込んで実施することで、新入

生については99%超、2年生についても90%を超える高い受験率を誇っています。



このたび2017年度入学生について、入学時と2年始業時の比較分析が可能となりました。紙面の関係上、学問基盤力の特徴的な分析結果の概要を紹介します。下表のとおり、化学を専攻するカリキュラムAの学生については、入学時の平均能力値-0.22が0.5に有意に向上した一方、数学を専攻しないカリキュラムBについては、入学時の平均能力値0.48が0.06に有意に低下したことが明らかになりました。

化学	平均能力値(入学時)	平均能力値(2年時)	平均能力値	差
カリキュラムA	-0.22	0.50	0.72	
数学	平均能力値(入学時)	平均能力値(2年時)	平均能力値	差
カリキュラムB	0.48	0.06	-0.42	

以上の対照的な結果から得られる示唆として、専攻とカリキュラムが対応している場合に学生の学びは伸びるが、そうでない場合には伸びない、ということが読み取れます。なお、カリキュラムBの学生については、入学時の数学に関する平均能力値が高く、2年始業時に他カリキュラムの学生と同等水準の平均能力値になっている点では留意が必要ですが、裏を返せば、大学において教育がなされなければ、学生の学びは向上しないということを裏

付けられているとも考えられます。その他の分析結果は「<http://ir.yamagata-u.ac.jp/reports/ap-20181001/>」でご確認いただけます。

今後も基盤力テストを継続的に実施し、上記の仮説を検証するとともに、学生の平均能力値の変化と履修歴および学習習慣の関係などを分析し、学士課程教育の改善を検討するための基礎データを蓄積していきます。